

LUMIX GH5 II

ファームウェア アップデート ダウンロードサービス開始



ファームウェア Ver.1.1

ライブ配信をさらに手軽に楽しめる。ミラーレス一眼カメラ LUMIX GH5IIのライブ配信機能向上などに対応したファームウェア アップデートのダウンロードサービスを開始

パナソニック ホールディングス株式会社

2021年11月17日

パナソニック株式会社は、ミラーレス一眼カメラ LUMIX Gシリーズ「DC-GH5M2」において、ライブ配信などの機能向上に対応したファームウェアのダウンロードサービスを2021年11月30日（火）より開始します。



LUMIX GH5M2 ファームウェア アップデート ダウンロードサービス開始

本製品は、「無線IPストリーミング機能」を搭載し、有線ネットワーク環境がない屋内外で一眼カメラならではの高画質なライブ配信を行う新たな利用シーンを提案してきました。

本サービスにより、ますます多様なシーンでのライブ配信に対応することで、ライブ配信を行うクリエイターのワークフローに寄り添い、ミラーレス一眼を活用した映像制作の幅をさらに広げる提案をしています。

【1】ライブ配信機能の強化

- スマートデバイスとのUSBテザリング（RTMP/RTMPS）

GH5IIとスマートデバイスをUSBケーブルで有線接続してライブ配信できる、「スマートデバイスとのUSBテザリング」に対応します。従来の「無線IPストリーミング機能」よりも、電波干渉の多い環境での使用時にも安定的な通信速度を確保しやすくなり、高画質な4K 30p映像の配信にも対応します。

●有線IPストリーミング機能（RTP/RTSP）

GH5IIとパソコンを有線LANケーブルで接続（※）することで最大4K 60pの「有線IPストリーミング機能」が可能になります。有線LANケーブルを用いて安定性の高い通信ができる屋内環境で、無線通信を介さずに4K 60pの高画質な映像と音声を配信することができます。

※ DC-GH5M2のUSB Type C端子をLAN端子に変換する市販のアダプターが必要です。



LUMIX GH5M2 ライブ配信方式

●選べるライブ配信フォーマット

これまでGH5IIの「無線IPストリーミング機能」では、最大FHD 60pでのライブ配信が可能でしたが、新たに「スマートデバイスとのUSBテザリング」や「有線IPストリーミング機能」を使用した場合は、4K画質の選択が可能です。通信量が少なく安定性を確保しやすいHD画質の映像から、4Kの高画質な映像まで、配信意図や通信環境に合わせた多彩なフォーマットを選択できます。

■ライブ配信フォーマット

解像度	フレームレート	コーデック	ビットレート	直接配信 (RTMP/RTMPS)		PCソフトで配信 (RTP/RTSP)
				Wi-Fi	USBテザリング	有線LAN
4K	60p	H.265	50/25Mbps	-	-	○
	30p		25/12.5Mbps	-	-	○
FHD	60p		20/16Mbps	-	-	○
	30p		12/6Mbps	-	-	○
4K	60p	H.264	50Mbps	-	-	○
			25Mbps	-	-	○
			25Mbps	-	-	○
			12.5Mbps	-	○	○
FHD	60p		16Mbps	○ (RTMP)	○	○
			8Mbps	○	○	○
			6/3Mbps	○	○	○
HD	60p		6Mbps	○	○	○
	30p		4Mbps	○	○	○

LUMIX GH5M2 ライブ配信フォーマット

【2】カメラ複数台接続に対応

●カメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether Ver.2.0」を用いてカメラ複数台接続での撮影

「LUMIX Tether Ver.2.0」を使用して、最大12台の対応機種を1台のパソコンから制御できます。

*対応機種（2021年11月現在）

1. LANケーブルを用いた機器制御：

DC-GH5M2（※）/BGH1/BS1H

※ DC-GH5M2のUSB Type C端子をLAN端子に変換する市販のアダプターが必要です。

2. USBケーブルを用いた機器制御：

DC-GH5M2/GH5S/G9/BGH1/S1H/S1R/S1/S5/BS1H

●カメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether Ver.2.0」経由のパワーズーム操作

「LUMIX Tether Ver.2.0」を使用して、パソコンからパワーズーム対応のLUMIX Gシリーズレンズを用いたズーム操作が可能です。

*対応レンズ（2021年11月現在）： H-PS14042/H-PS45175

https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

【3】静止画機能の追加

●ライブビューコンボジット

設定した露光時間ごとに画像を撮影し、明るく変化した部分を合成して1枚の写真として記録します。通常のバルブ撮影では露出オーバーになってしまうような撮影シーンでも、全体の露出を適正に保ちながら、星の日周運動や花火などの切れ目のない美しい光跡をモニターで仕上がりを確認しながら撮影できます。

本ファームウェアは、2021年11月30日（火）より下記サポートサイトからダウンロードすることができます。

■対応ファームウェア

【DC-GH5M2 ファームウェアVer.1.1】

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

【カメラ制御ソフトウェアについて】

DC-BGH1でご使用いただいております「LUMIX Tether for Multicam」は、2021年11月30日（火）より、「LUMIX Tether」にソフトウェアを統合いたします。詳細は、サポートサイトよりご覧ください。

https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

<関連リンク>

▼マイクロフォーサーズミラーレス一眼カメラ LUMIX DC-GH5M2

https://panasonic.jp/dc/products/g_series/gh5m2.html

●YouTube(TM)およびYouTubeロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。

●Facebookは、Facebook, Inc. の登録商標です。

●その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。